

1 単元名 江戸幕府と政治の安定

2 本単元の目標

- (1) 文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定してきたことを理解できるようにする。  
(知識及び技能)
- (2) 武士による政治が安定してきたことについて、文化財や地図、年表などの資料などに着目して、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を関連付けたり総合したりして、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、表現する。  
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 学習を調整し、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。  
(学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知①世の中の様子、人物の働きなどについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を理解している。</p> <p>知②調べたことを文にまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。</p>	<p>思①世の中の様子、人物の働きなどに着目し、問いを見いだし、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について、多角的に考え表現している。</p> <p>思②江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を関連付けたり総合したりして、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、適切に表現している。</p>	<p>態①江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>

4 単元について

(1) 教材観

本単元は内容(2)の「歴史と人々の生活」に区分される内容であり、「我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解する」大単元の第7小単元に位置付く。江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、複数の立場や意見を踏まえて、武士による政治が安定したことを理解することが、本小単元のねらいである。

(2) 児童観

本学級の児童に、「戦国の世から天下統一へ」の単元末に、複数の立場や意見を踏まえて、社会的事象の意味を考えることができるかの実態調査(令和3年\*月\*日実施)を行った。織田信長と豊臣秀吉の業績を複数の立場から捉えて記述できた児童は\*人、戦国の世の統一に果たした織田信長と豊臣秀吉の役割を記述できた児童は\*人であった。これらの結果から、本学級の児童は、社会的事象の意味を多角的に考える力に課題があることが分かった。

(3) 指導観

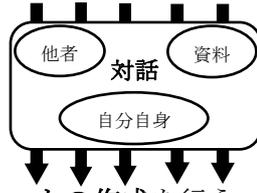
単元全体を通しては、パフォーマンス課題の追究を柱に、学習を調整しながら個別最適な学びと協働的な学びを行き来する学習の流れを工夫する。まず、課題を追究する際の土台となるよう、社会的事象に関わる用語や語句を調べる活動を行う。次に、個別最適な学びを主軸に、具体的な事実に対する複数の立場や意見を考える活動を行う。ワークシートの活用や学習を調整する場の設定、教師からの個に応じた働きかけを通して、複数の立場や意見を踏まえて、社会的事象を捉えることができるようにしていく。最後には、協働的な学びを主軸に、社会的事象を関連付け、総合して考える活動を行う。個々の学びを関連付けるためのコンセプトマップの活用や、パフォーマンス課題に対する一人一人のまとめを報告する場の設定を通して、関連付け、総合して社会的事象の意味を考えることができるようにしていく。

5 単元の指導計画（7時間扱い）（○：指導に生かす評価、◎：記録に残す評価）

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価方法・留意点等	
1	1 ・ 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時代までの資料を掲示し、次に続く江戸時代を想像する。</li> <li>鎌倉時代からの年表を掲示し、江戸時代が続いた期間を知り、なぜなのかを予想する。</li> <li>架空の殿様と家臣の会話を聞いて、パフォーマンス課題を捉える。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>前時代までを振り返り、江戸時代を予想できるようにしたり、幕府による政治が行われた時代が続いた期間の分かる資料を提示したりして、本単元への意欲をもてるようにする。</li> <li>ICT機器を使った会話形式の課題にすることで、すべての児童が課題を捉えやすくするよう工夫する。</li> </ul>	
		<p>殿：「家臣ども。わしはこの後天下をとることができるじゃろうか。気になって気になって夜も眠れん・・・そうじゃ！お前ら、この先の世にいつてわしが天下をとっておるのか見てくるのだ！」</p> <p>家臣：「はは～！！」</p> <p>↓</p> <p>家臣：「殿様、大変でござりまする！殿様はこの後の世で天下を取るところか、名も知られていませんでした！」</p> <p>殿：「何～？天下を取ったのはだれじゃ！！」</p> <p>家臣：「それが、徳川家康でござりまする。何と徳川家康の開いた江戸幕府はその後260年も続いたようござりまする！」</p> <p>殿：「何～！！家康め！！おい家臣ども。もう一度その世に行って、260年もの長い間、江戸幕府はどのようにして世を治めたのか調べて報告するのじゃ！！」</p> <p>家臣：「はは～！！」</p>					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸幕府は、どのようにして世の中を治めたのか、予想する。</li> <li>パフォーマンス課題を解決するために必要なことを考え、学習の計画を立てる。</li> </ul> <p>江戸幕府が行った政策を調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年表からキーワードを探し出し、江戸幕府が行った政策に関わる用語や語句の情報を集め、読み取る。</li> <li>全体で確認する。</li> </ul> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵ふみを行って、キリスト教を禁止した。</li> <li>大名を1年おきに江戸と領地を行き来させる参勤交代を行った。その間、妻子は人質として江戸に住まわせた。</li> <li>大名を三つに分け、全国に配置した。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>年表で、江戸時代に大きな騒乱が起こっていないこと、江戸時代が長く続いたことを捉えて「世の中を治める」ことについての共通認識を図ることができるようにする。</li> <li>パフォーマンス課題を提示することにより、課題を自分事として捉え、追究する必然性や方向性を明確にもって、追究を進められるようにする。</li> <li>調べたことを振り返ったり、付け足したりしながら学習を進められるように一つ一つの政策ごとに調べたことを記録するなど、単元全体を通して学びの積み重ねが見えるノートの使い方を提示する。</li> <li>全体で共有するときには、政策ごとに事実と大切な語句を板書することで、知識を整理し、次時の課題を追究する際の基盤となるようにする。</li> </ul> <p>知①：必要な情報を読み取れているか見取り、不十分な児童には、情報の探し方や資料の読み取り方を助言する。</p> <p>【ノート・観察】</p>	
2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>殿様からの「文」を読み、本時の課題を確認する。</li> </ul> <p>江戸幕府はたくさんの政策を行ったようじゃな！これらの政策と世を治めたことに関係があったのか？どのような政策だったのか、その世のもの達にインタビューしてたしかめるのじゃ！</p> <p>いろいろな立場の人にインタビューをし、どのような政策だったのか調べよう。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に調べたことを掲示しておき、知識を活用しながら学習が進められるようにする。</li> <li>殿様の「文」から学習をスタートすることで、興味関心をもち続け追究を進めたり、方向性や見通しを捉えやすくしたりできるようにする。</li> <li>殿様の「文」の中にある「その世のもの達にインタビュー」という言葉を取り上げ、視点を明確にしながら調べることができるようにする。</li> </ul>	

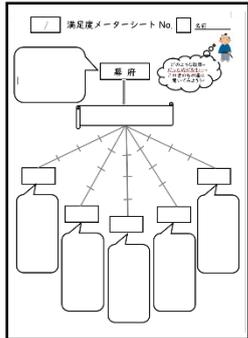
【個別最適な学びを軸に、学習を調整しながら追究を進める。】

○追究タイム (個)



満足度メーターシートの作成を行う。

- ・一人一人が調べる政策を選択する。
- ・関わる立場の人々を記入する。
- ・人々の意見を記入する。
- ・政策への満足度をメーターに表す。



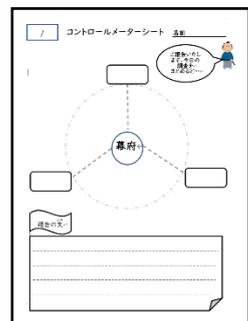
例) 参勤交代  
 ・幕府の意見  
大名達に費用を負担させて、財力を弱めるのだ！反抗する力もなくなるだろう。  
 ・大名の意見  
江戸と行き来するための費用がかかって藩の財政が悪化してしまった！負担だ。

一人一人が進度に合わせ、シートの作成を通して追究を繰り返す。

○報告タイム (個→協→個)

コントロールメーターシートの作成を行う。

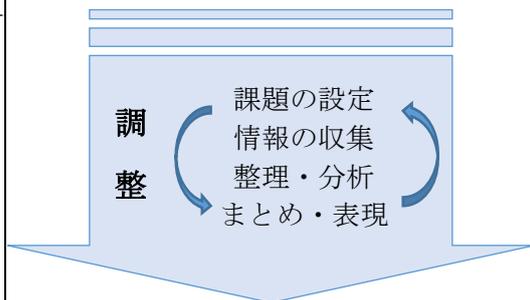
- ・調べたことを基に、江戸幕府がそれぞれの立場の人をどのくらいコントロールしていたかを考え、コントロールメーターに記入する。(個)
- ・メーターを基に友達と対話する。(協)
- ・パフォーマンス課題に立ち返り、報告の文を書き、次時への見通しをもつ。(個)



例)  
 殿、幕府は、大名達に参勤交代で負担を負わせ、武家諸法度で力を弱めさせ、支配していくことで、世の中を治めて来たようです。

4

5



○ 態①: 追究したい課題が見いだせない児童には、前時に作成した掲示物を提示し、具体例を挙げることで一緒に考えることができるようにする。

【観察】

- ・個による追究場面、対話による追究場面の行き来が可能になるように、3つの対話の場(自分自身、他者、資料)の設定をする。
  - ・調べ学習の中で新たに知った事実や語句が出てきた際には、前時のノートに付け加えていくよう伝え、知識の習得と活用を繰り返しながら学習を進めることができるようにする。
  - ・他者と対話する時には、考えの根拠を示しながら話すことができるように、互いに「どうして?」「どこから思ったの?」などの言葉を投げかけるよう助言する。
  - ・調べたことの中で、政策の良い点は赤線、悪い点は青線で線をひくことで政策を総合的に捉える視点をもつことができるようにする。
  - ・一単位時間ごとのワークシートを通して、児童の学びを見取り、報告の文に殿様からの返事としてコメントを書くことで、児童の学習の調整を促していく。
- 思①: 複数の立場や意見を踏まえ、幕府の政策や身分制を捉えられているかを見取る。不十分な児童には、参考になる資料の提示や補助発問を通して、江戸幕府の一つ一つの政策を捉えることができるようにする。

【観察・ワークシート】

- ・数値化することで、視覚的に自分と他者の考えを比べ、抱いた疑問や気づきを基に、次の課題を決めることができるようにする。
  - ・事実の理解にズレが生じた場合は、「家臣会議」を開き、軌道修正できるようにする。
  - ・一人一人の思考過程に応じて、発問やゆさぶりをを行い、気づきや疑問をもてるようにする。
- 思①: 複数の立場や意見を踏まえ、幕府の政策や身分制を捉えられているかを見取る。不十分な児童には、参考になる資料の提示や補助発問を通して、江戸幕府の一つ一つの政策を捉えることができるようにする。

【観察・ワークシート】

○ 態①: 新たな課題を見いだしたり、追究方法を見直したりしているかを見取る。不十分な児童には、児童の追究に応じて、三つの場の活用を助言し、自ら調整していけるようにする。

【観察・ワークシート】

- ・パフォーマンス課題に立ち返り、追究が十分であるかを確認し、本時の課題を設定するよう助言する。
  - ・今まで追究したことの共通点や差異点などに気付くような発問やゆさぶりをを行い、思考が広がるようにする。
- 思①: 世の中の様子や人物の働きなどに着目し、幕府の政策や身分制について、多角的に考えている。

【観察・ワークシート】

◎

	<p style="text-align: center;"><b>3～5時にかけて 学習を調整しながら、 追究を繰り返す。</b></p>	◎	<p>知①：資料から必要な情報を読み取り、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を理解している。【観察・ワークシート】</p>
3	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・殿様からの「文」を読み、本時の課題を確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なかなか完璧な政策はないよじゃな。人々に不満もあったよじゃが、なぜ江戸幕府は世の中を治めることができたのじゃ？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>江戸幕府は、なぜ世の中を治めることができたのだろう。</p> </div> <p style="text-align: center;"><b>【協働的な学びを主軸に進める。】</b></p> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べてきた政策や人々の意見を付箋に書き出し、貼り出す。</li> <li>・グループごとに、政策をコンセプトマップ上で関連付けていく。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワールドカフェスタイルで、交流を繰り返す。</li> <li>・元のグループに戻り、気づきや発見をコンセプトマップに書き加える。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対する自分の考えをまとめる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幕府の行った政策は、幕府に権力や財力を集め、支配するのに効果的だった。一方で、身分を決め武士の立場を守ったり、農業技術を高めたり、人々にとって暮らしやすい社会になったから、世の中を長い間治めることができた。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りをし、次時への見通しをもつ。</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パフォーマンス課題に立ち返り、これまでの学習を活用して、課題を解決していくことを確認する。</li> <li>・前時までの観察、ワークシートの記述を基に、より多くの人と対話し、考えを深め広げていけるよう、意図的なグルーピングを行う。</li> <li>・前時までに印をつけた赤線・青線を参考に、政策の良い点・悪い点を色違いの付箋に書き出すことで、政策の意図や社会の様子について、総合的に捉えられるようにする。</li> <li>・コンセプトマップの中に、吹き出しや矢印を書き加え、政策同士を関連付けて考えていくよう助言する。</li> <li>・他のグループの意見をそのまま加えるのではなく、ノートや資料などで確かめ、加えるかどうかを各グループで判断するよう助言する。</li> </ul> <p>◎ 思②：幕府の政策や身分制を、関連付けたり総合したりして政策の意図や社会の様子を考えることができるかを見取る。不十分な児童には、思考ツールを提示したり、つなぎ言葉を補助したりすることで関連付けて考えることができるようにする。【観察・ワークシート】</p> <p>◎ 態①：主体的に課題を追究し、調べたことを生かして、解決しようとしている。【観察・ワークシート】</p>
7	<p>殿様におくる「文」を書いて届けよう。</p> <p style="text-align: center;"><b>【個別最適な学びを主軸に進める。】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べてきたことを総合し、パフォーマンス課題に対する、「報告の文」を書く。</li> <li>・相手を変えながらペアで「報告の文」を読み合い、確認する。</li> <li>・「報告の文」を完成させ、殿様に報告する。</li> <li>・単元を通した学習の振り返りをする。</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に各グループが作成したコンセプトマップを掲示し、振り返りながら「文」を書くことができるようにする。</li> <li>・ルーブリックを提示することで、伝えたい内容の要点を捉えられているか、自らが確認して「文」作りを行えるようにする。</li> <li>・ペアで交流しながら気付いたことをメモし、最後の「文」を書くときに生かせるよう助言する。</li> </ul> <p>◎ 思②：調べてきたことを関連付けたり総合したりして、幕府の政策の意図や社会の様子を考え、適切に表現している。【観察・ワークシート】</p> <p>◎ 知②：調べたことを「文」にまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。【報告の文】</p>